

ITP パートナー機関 ラオス国立大学

【ラオス国立大学について】

ラオス国立大学は、首都ヴィエンチアンにある同国最大の大学である。1996年に既存の大学を統合することによって新たに設立された。

【コース内容について】

1) ラオス語研修について

ラオス国立大学文学部では、外国人を対象としてラオス語教育を行っている。個人、またはグループを対象に文学部教員により適宜講義が行われている。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科の学生をはじめ、これまでに多くの日本人学生が同学部でラオス語の講義を受講してきている。個人講義の日程は、教員と受講者の話し合いにより決められる。

2) 研修料について

昨年度の実績では、個人研修の場合の研修料は、1時間あたり5ドルである。仮に1日3時間、週5日の講義を1ヶ月（4週間）受講した場合には、300ドルとなる。また教科書代として別途12ドル（4ドルx3冊）が必要である。

3) 宿舎について

ラオス国立大学には学生料があり、外国人留学生も入寮が可能である。一方、ビエンチアンには数多くのゲストハウスがあり、また一般家庭での下宿も可能である。

4) 研修修了証明書について

語学研修修了後には、文学部長から証明書が発行される。参考として、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科の学生の研修修了証明書のコピーを添付する。

